

〈愛媛県動物愛護センター便り〉

愛媛県動物愛護センターでは犬・ねこの処分頭数の減少に向けて、「動物愛護精神や動物の適正な飼い方等の普及啓発」、「譲渡頭数の増加」などを柱にこれまで様々な活動を展開してきました。その成果も徐々に現れつつあり、県内の犬の処分頭数は平成15年の4,628頭から平成22年の1,897頭まで年々減少傾向にあります。一方、ねこの処分頭数は平成15年度3,797頭でしたが、その後も横ばい傾向で平成22年は3,617頭となっています。

このような状況のなか、処分数のさらなる減少に向けてこれまでの活動を一層充実させる取り組みを模索していますが、近年特に力を入れているのが子供たちを対象とした「動物愛護教室」です。子供のうちに、動物とふれあいながら命の感触と大切さを感じてもらい、動物の体のしくみや正しい飼い方、終生飼育の重要性など様々な知識を身につけてもらえるよう、パネルなどの教材も工夫しながら試行錯誤で行っています。平成21年度から開始した小学校での動物愛護教室は、平成22年度には10校を訪問し1,219人の児童に受講していただきました。今後も、教育現場の対象を広げたり、各種団体のイベント等を利用したりしながら、愛護精神の普及啓発の機会を広げていきたいと思っております。

また、当センターの特徴のひとつとして、報道関係者や一般希望者を対象にした処分施設の公開というものがあります。現状を実際に見てもらうことで、不幸な動物たちを少しでも



減らすことに繋がればという思いで始めたものですが、特に報道関係の反響は大きく平成22年度は33件もの取材がありました。また、センターが主催する講習会等でも、スライドを利用して処分施設に関する説明を行っており、こうした積極的な施設公開の継続が啓発に繋がるものと考えています。

収容された犬・ねこの譲渡数を増加させるための取り組みでは、通常センターで実施している譲渡会を県内各地に出向いて開催したり、定期譲渡会の他にも譲渡する機会を設けたりしています。

これらはいずれも、関係団体や教育機関等の協力なしでは成り立たないことばかりです。今後も、積極的な情報提供と愛護精神の普及啓発を行いながら、関係機関と連携して譲渡制度の認知度を高める等、様々な方策を検討していきたいと考えています。